

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

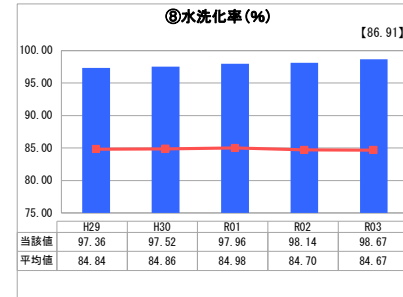
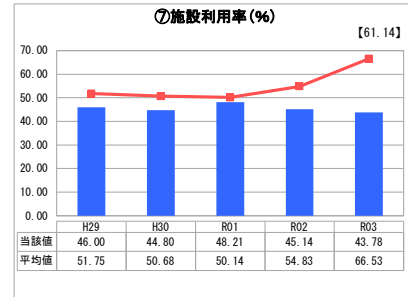
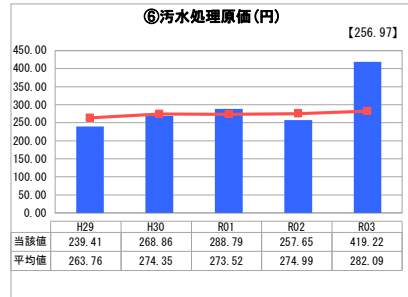
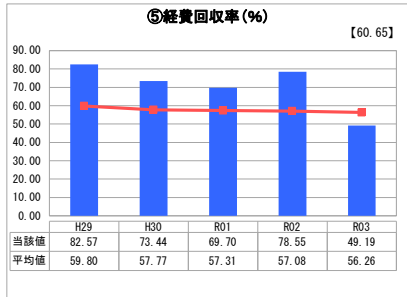
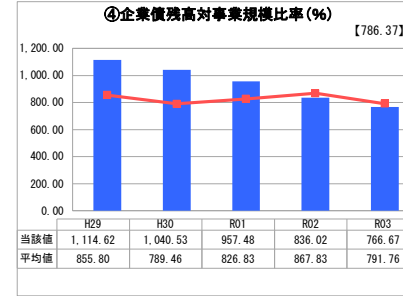
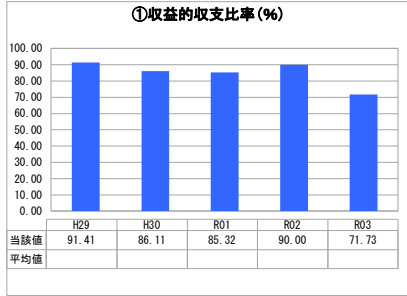
北海道 梶加内町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	63.41	76.00	3,592

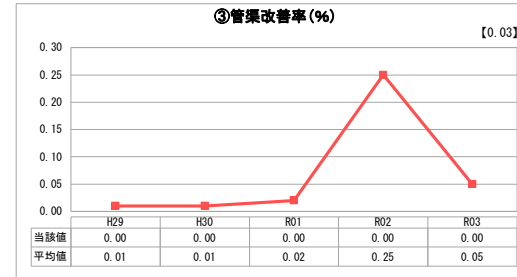
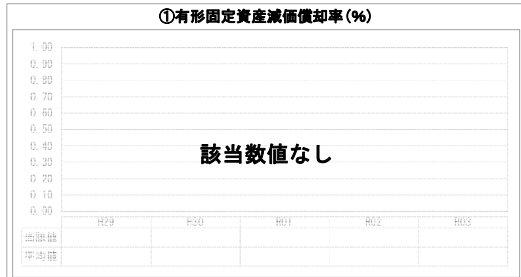
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,332	767.04	1.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
830	0.73	1,136.99

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

○収益的収支比率・経費回収率  
令和3年度については、大幅に率を落としてしまったため、次年度以降上昇傾向に戻せるように努める。

○企業債残高対事業規模比率  
近年のこの比率は、減少傾向にある。しかし、近々大規模な改修を予定しており、補助の出る改修ではあるが、不足部分は企業債の発行を予定している為、比率の悪化が予想される。

○施設利用率  
5割を下回っており、改修の際に施設の規模を現状維持していくかを検討する必要がある。

○水洗化率  
年々徐々に増加しているが、まだ100%に届いていない。更なる加入の促進に努める。

### 2. 老朽化の状況について

○管渠改善率  
平成11年の供用開始の為、管渠については法定耐用年数を超えるものは無い。施設についても近々大規模な改修を予定している。

## 全体総括

○人口減少が進む中で、料金収入が減少していく事が予想される。少しでも料金回収率や収益的収支比率を改善するために、施設利用率が低いので改修の際に規模の縮小等を考えていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。